

2002年度冬季研究会の案内 第一報

2002年度の冬季研究会は特定のテーマを、講師を交えてじっくり議論することを考えています。講師には富士大学の松岡勝美さん、テーマは「(仮題)国際水法の諸原理の発展と動向」を予定しています。松岡さんは6月の研究大会でも「水資源の国際取引と環境保護」の題目で発表していただきました。その時の発表内容をより具体的にじっくりと聞きたい、また、お互いに議論を交わしたいという希望が学会事務局に多く寄せられ、松岡さんに改めて話題提供をお願いすることとなりました。

せっかくの機会ですので、十分な時間を用意し、希望する方は宿泊可能な状態で議論をしたい、と考えています。日時、場所等は確定し次第、ニュースレターでご案内させていただきますが、今のところ、3月上旬の土日(1~2日、又は8~9日)、滋賀県の琵琶湖を臨むことのできる宿泊施設(彦根あたり)を考えています。多くの方のご参加をお待ちしております。

問合せ先: 伊藤 達也(金城学院大学現代文化学部)
e-mail:tito@kinjo-u.ac.jp

目次:

冬季研究会の案内	1
2002年度研究大会を振り返って	1
大会報告によせて	2
総会報告	3
新規加入会員案内	5
事務局からのお知らせ	5

2002年度研究大会(6月1日)をふりかえって 秋山道雄

「人間生活と水」をメインテーマに掲げた今年度の研究大会は、久しぶりに関西へ戻り、JR京都駅からほど近い大学コンソシアム京都で行なわれた。すでに前回の『ニュースレター No.30』でご案内の通り、板橋前会長による基調講演「水問題の普遍性と特殊性について」のほか6名の方々による一般発表があり、午前10時30分の開会からほぼ7時間におよぶ発表と質疑をもって日程を終えた。

一般報告は、セッション1とセッション2に分け、各セッションで3つの報告が行なわれた後、まとめて質疑・討論を行なうという方式をとった。主として時間の制約からこうした方式をとっているわけであるが、いつものことながら質疑・討論の部の後半にいたって場が盛り上がり、座長が収束に苦慮するという事態を今回も免れえなかった。

研究大会におけるこうした燃焼不全を克服するため、研究企画部会では、今年度から冬季研究会をできれば1泊2日の日程で行ない、1つのテーマについて徹

底した議論を交わすことを計画している。

閑話休題。セッション1では、次の報告が行なわれた。

名古屋の都市河川・堀川浄化を考えた

(渡辺 泰)

海民ダイナミズムと北東アジア化

(梁 説)

滋賀県の地下水汚染

(畑 明郎)

『ニュースレター No.30』に各報告の要旨が掲載され、大会当日は詳しい発表原稿集が配布されているので、ここでは各報告の内容には立ち入らない。は環境保全活動、は文化史のなかの水、は直近の汚染問題、をアツかったものである。を聞いて、似たような状況にある他の河川でこうした取り組みをやってみようかと思われた参加者もおられるのではあるまいか。は、2000年度の大会報告(水文化思想の日韓比較)を受け、テーマと対象地域をさらに拡大したものである。

は、昨年顕在化した問題を精力的に調査してまとめたホットな報告であった。休憩をはさんで、セッション2では次の報告が行なわれた。

環境マネジメントシステムの効用と有効性

(西田一雄)

水資源の国際取引と環境保護 (松岡勝美)

生活史的にみた下水道技術の誤謬 (末石富太郎)

セッション1が、そのスケールに広狭はあるものの、いずれの報告も特定の地域を対象とした報告であったのに対して、セッション2は、特定の地域を限定しない一般的な内容をもったものであった。は、環境マ

ネジメントシステムの技術指導を担当している当事者からの実践報告。は、「貿易と環境」をめぐる近年の動向に水の面から接近したユニークな報告。は、本学会の会員にはすでに周知の前副会長による練達の報告であった。

今回の6報告は、内容と報告者(の専門分野、居住地、年齢、性別など)がバラエティーに富んでいたせいもあって、質疑・応答も多彩であった。参加者には予稿集が手渡っているとはいえ、多くの会員は詳しい内容を知り得ていないので、報告者各位は今回の報告をまとめて頂き、学会誌に投稿されることを希望したい。

大会報告によせて

末石 富太郎

今回の大会は、これまで大阪学院大で会を開いていた時より参加者数が倍増している感じで盛会でした。いい訳ですが、僕は発表が久しぶりで、赤線を入れた手元メモも用意していたのに、最初に“linear”な発表はしにくい、と言った途端に狂ってしまって、お見せすべきだったOHPを忘れて、キーワードの説明も不十分だったりでした。帰り道、これが痴呆の初めかなと悔やみました。以下は、大会の報告レジュメを補足する追加情報です。ご参考に、講演論文を再読して下さい。

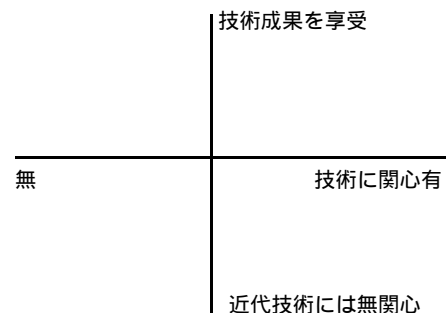
compost toiletの図はslideだったのでお見せできなかったが、犬山市の実例を引用すると、水は極少量、手動か電動でオガ屑を投入、発酵槽(滞留時間は槽の大きさや使用人数で変わる)終端から堆肥が出てくる。当然、この用途も考えて容量設計をする必要がある。文献9)も参考のこと。

PureCycleの要素技術は、生物処理用小型回転円盤、限外ろ過(これに大きなenergyが必要)、イオン交換、オゾン滅菌、と地下貯留(冷蔵による味の保持)。

下水道だけでは財政的に成立しない例に挙げたBochumは、正確には隣のDortmundとGelsenkirchenも含まれる。Seeのコストの2/3を出したのはこの3市、1/3がRuhrverbandでこの額が2.5億マルク。

末石は四国吉野川の第十堰を見ていないが、航空写真のTV映像では、堰が流れに直角でなく、右岸側が下流に寄っている。右岸側の堤防高と堰の関係にあるsafety valveが仕掛けてあるとみる。

文明社会の野蛮人の枠組みには下図を用意していたが、映写を忘れた。図のI象限が分献22)での技術の文化化、が文明社会の野蛮人、がnoble savages、はreformistとって一般的には工学部系の人種(いかなる社会的効用を発揮するかは無頓着に技術改革を先導)。



keywordsは、失敗、個人上下水道、dry sanitation, lip service(の禁止)を挙げた。

lip serviceを止めるには、学者または大学が政策決定に糾合されていなければならぬ。このためにこそ意思決定次元の多元化が要る。規模、技術要素を多元化した下水道のメニューを増加すべきである。この多元化は必然的に多くの隙間を伴う。ここに芽生えるのがniche industryで、別名ベンチャービジネス。

こういう発表は、フォーコーのいう「思考の網の

目」と関係がありそうだ。今応募中の今年秋の社会・経済システム学会(テーマは転換)で許可が出れば、「環境問題の守備範囲」として再挑戦の予定で

*大会に参加できなかった皆さまには、議論されている内容が分かりにくいと思いますので、学会ホームページに近々、末石報告を掲載する予定です。ご参照をお願いします。

なお、URLは<http://www.soc.nii.ac.jp/jawre> です。

2002年度総会の概要

去る2002年6月1日に開催された大会と合せて、学会総会がもたれました。総会では以下の議案が審議され 議決されました。

第1号議案 「2001年度事業報告」

2001年度の研究事業として以下の事業の報告がありました。そのなかで、ホームページの運営については、タイムリーなホームページの更新が行われていなかったので改善することが話し合われました。

- 1) 研究事業
 - 研究大会 テーマ「環境と人間生活」札幌大学(2001/6/8)
 - 夏季研究会 「諫早湾干拓計画について」諫早市(2001/8/26-27)
 - 冬季研究会 「京都伏見の名水文化を訪ねる」2002/3/9)
- 2) 学会誌事業
 - 『水資源環境研究』vol.14の発行
- 3) 広報事業
 - ニューズレターの発行(3回)
 - ホームページの運営
- 4) その他
 - 事務局体制の整備

第2号議案 「2001年度会計報告および会計監査報告」

下表のように2001年度会計報告がなされ、宮崎淳、原口宏房監事よりの監査報告が代読され、了承された。

2001年度 会計報告

収入の部

内訳		
繰越金	2000年度より	¥1,927,800
会費	会費収入	¥998,290
学会誌	学会誌販売	¥5,860
合計		¥2,931,950

支出の部

		内訳	執行額
研究事業	会議費	会場費	¥8,750
		その他	¥5,040
学会誌事業	印刷費	学会誌印刷	¥581,630
	通信費	郵便料	¥43,830
	会議費	会場費	¥46,445
広報事業	事務費	消耗品	¥945
	通信費	郵便料	¥13,650
事務局経費	事務費	消耗品	¥20,218
	通信費	郵便料	¥3,560
	会議費	会場費	¥20,000
その他	未払い金		¥716,034
合計			¥1,460,102
2002年度へ繰越			¥1,471,848



第3号議案 「2002年度事業計画案」

今年度の事業計画として3種類の研究事業と学会誌の発行、広報事業が提案され、了承された。なお、冬季研究会については、これまでのような視察やフィールドワークをメインにするものから、じっくりとひとつのテーマで議論ができる企画にすることになりました。

1) 研究事業

研究大会 テーマ「人間生活と水」大学コンソーシアム京都 (2001/6/1)

夏季研究会 「神岡鉱山立入調査」 (2001/8/26-27)

冬季研究会 (2002年3月) 詳細は未定

2) 学会誌事業

『水資源環境研究』vol.15の発行

3) 広報事業

ニューズレターの発行 (3回)

ホームページの運営

4) その他事業

第4号議案 「2002年度予算案」

今年度の予算案は事業別予算として提案され、了承された。

収入

個人会員	139 @¥5,000	¥695,000
法人会員	5 @¥30,000	¥150,000
	合計	¥845,000

支出

1.研究事業	会議費	会場借上	¥20,000
2.学会誌事業	印刷費	学会誌印刷	¥600,000
	通信費	郵送料	¥50,000
3.広報事業	事務費	消耗品	¥10,000
	通信費	郵送料	¥35,000
4.事務局経費	事務費	消耗品	¥10,000
	通信費	郵送料	¥15,000
	会議費	会場借上	¥60,000
5.その他	予備費		¥45,000
	合計		¥845,000

第5号議案 「2002年度役員選出」

2002年度の学会役員として、理事、顧問、監事に以下の会員が選出された。

理事

秋山道雄 (滋賀県立大学)
 足立考之 (内外エンジニアリング)
 伊藤達也 (金城学院大学)
 牛山 積 (早稲田大学)
 大橋 浩 (地域社会研究所)
 荻野芳彦 (大阪府立大学)
 小幡範雄 (立命館大学)
 國松孝男 (滋賀県立大学)
 菅原正孝 (大阪産業大学)
 高橋卓也 (滋賀県立大学)
 立川 涼 (高知大学)
 千頭 聡 (日本福祉大学)
 土屋正春 (滋賀県立大学)
 仲上健一 (立命館アジア太平洋大学)
 西田一雄 (地域環境システム研)
 仁連孝昭 (滋賀県立大学)
 野村克巳 (京都市下水道局)
 畑 明郎 (大阪市立大学)
 花嶋温子 (大阪産業大学)
 宮永昌男 (京都創生大学)
 三輪信哉 (大阪学院大学)
 盛岡 通 (大阪大学)
 森滝健一郎 (奈良大学)
 安本典夫 (立命館大学)
 山田健治 (椋山女学園大学)
 若井郁次郎 (大阪産業大学)
 渡辺紹裕 (総合地球環境学研究所)

顧問

板橋郁夫
 河野通博
 末石富太郎

監事

原口宏房 (平成国際大学)
 宮崎 淳 (創価大学)

～ 新規加入会員案内 ～

個人会員

敬称略

会員名	所属	専門分野等
本村 輝正		農業・畜産と水域環境の汚染(特に硝酸態窒素) 杉伊木の生育と水の汚染
安部 康久	伏見醸友会(伏見地下水保存委員会)	地下水
岩下 竜	神戸大学大学院国際協力研究科	水道行政、水道水源保全
若菜 博	室蘭工業大学共通講座	地球系における物質循環と人間の活動のあり方
森田 健太郎	(株)地域計画研究所	環境政策への市民の参加、持続可能なコミュニティの要件
平井 拓也	滋賀県立大学 大学院	土壌 地下水
太田越 秋鳳	日本バイオテクノ(株)	水供給 衛生及び水質汚染 地下水

知り合いの方にぜひ、水資源・環境学会への入会をお勧め下さい。

学会事務局からの案内と連絡

原稿募集!

学会誌「水資源・環境研究」への投稿を募っております。本年度はリオ+10会議がヨハネスブルグで開催されるほか、世界水フォーラムが関西を中心に開催が予定されるなど、環境をめぐる国内外の動きは大きな節目をむかえるともいえるでしょう。次号の内容をさらに充実させるべく、皆さまのご投稿をお待ちしております。次号の締め切りは、**8月31日**です。投稿規程や執筆要領は学会誌の巻末にあります。投稿希望の方は、裏面のエントリーシートを下記担当理事までお送り下さい。お問い合わせなども下記までご連絡なく!

学会誌編集担当・事務局 野村 克巳

連絡先(自宅) 〒659-0012 芦屋市朝日ヶ丘町8-7-610

電話 & F A X : 0797-34-4785 E-MAIL : nomnom@hi-ho.ne.jp

会員名簿発行しました

2002年度会員名簿が出来上がりました。皆さまのご協力、誠にありがとうございました。掲載事項に変更等ございましたら、下記学会事務局までお知らせ下さい。E-MAILアドレスの登録もよろしくお願い致します。

学会事務局 仁連 孝昭

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500滋賀県立大学環境科学部内

TEL : 0749-28-8278 E-MAIL : niren@ses.usp.ac.jp

発行: 水資源・環境学会

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町2500滋賀県立大学環境科学部内

電話 0749-28-8278 Fax 0749-28-8348

HP更新中!

<http://www.soc.nii.ac.jp/jawre>